

ゆうかり放送委員会提供

ゆうかりに乾杯

第30回放送の概要 (2011年2月26日放送)

パーソナリティ

さくら (安本久美子)
タロウ (佃 由晃)
なかちゃん (中嶋邦弘)

コアラさんの地域瓦版

アコちゃん (三木文子)



ミキサー

門ちゃん (門田成延)
一ノ瀬悟

相談役

わだかん (和田幹司)

会計

小山俊則

(CM) 石川遼です。峰山真彩 (まい) ちゃんは8歳の元気な女の子。でも輸血をしなければ生きてこれなかった。峰山真彩です。献血してくれてありがとうございました。僕らも命の助けになれる。20歳の献血。Love in Action。日本赤十字社。

(CM) JR兵庫駅前の「神戸ルミナスホテル」、抜群のロケーション、最新の設備と最高のおもてなし、ビジネス、観光の快適な拠点として皆様のお越しをお待ちしております。今日は「神戸ルミナスホテル」様 (TEL: 078-511-7700) のご協力を頂きました。

1. オープニング

最近驚かされることが多いです。1月27日新燃岳が52年ぶりに爆発的噴火が起こり今も継続している。宮崎県は去年は口蹄疫、今回は火山灰で農作物が駄目になり、また鳥インフルエンザも発生した。そして2月22日にはニュージーランドに地震が発生し、クライストチャーチの近くに同期の娘さん家族が住んでおり心配したが家族のもとに無事であるとの電話があった。仕事場は崩壊したビルのすぐそばでバイオリンの職人をしているが工房は駄目になったようだ。まだ多くの行方不明の方がおられるがその中に垂水区の看護師の方もおられ無事を祈っています。

2. ゲストコーナー: 本田啓之さん (36 陽会)、井手ます美さん (60 陽会)

本日のゲストは兵庫高校OB合唱団ユーカリプタスの本田啓之さんと井手ます美さんです。昨年11月23日の本田さんの傘寿コンサートではお二人の素晴らしい歌を聞かせて頂きました。本田さんの同期の方ではすでに林五和夫さんと友藤秀雄さんには当番組に御出演頂いており3人目になります。本田さんは二中時代友藤さんと一緒に軟式野球をされていた。

音楽との出会いは小さい時から母に音楽を習っていたので、これまで投稿原稿などで母の胎内かもしれないとなんとなく書いてきた。しかし1週間程前にNHK朝の連続ドラマ「てっぱん」を見ていて、主人公のあかりちゃんが実のお父さんからプレゼントされたひまわりという曲を聴いて初めての曲ではないと思うというセリフがあり、その時に自分も実感として受け止めた。戦時中は庭の千草、埴生の宿などイギリスがルーツの有名な曲もレコードを聴いたりすることができず、特高警察に没収されそうになったこともあった。そのような曲を初めて聴いたとき聴いたことがある、知っている曲だと思ったことから胎教はあるのだというドラマと同じ感覚を実感した。これからのお母さん方にはいい音楽を聴いていい子供さんを育てていただきたいと思う。母は明治、大正時代に楽譜を手書きで残している。

二中時代の3年生の時に終戦を迎えたが、その年の初めはグラマン戦闘機が制空権を制しており神戸の空を飛びまわっていた。自宅のある平野から学校に行くのに絵下山を越えて徒歩で通学していた。当時学校の規則で市電で通う場合は平野から楠木町6丁目でも乗り換え1駅先の湊川公園で降りて徒歩で行く必要があった。西からは長田で降りて歩く必要があった。下校時下山で2回グラマンに狙われとても怖かった。その時は帰宅するとすぐに埴生の宿、庭の千草、ヨハンシュトラウス、軽騎兵などの曲を聴いて癒されていた。そのようなレコードは特高に没収されかけたが母の形見であると涙を流して訴え没収を免れた。その後レコードを竹針で聴くときは押し入れに入り音量を絞って聴いていた。幼少の頃からオルガンと楽譜に親しんできたが、音楽を正式に習ったのは中学4年で、声変わりした時上野から帰って来られた声楽の先生がたまたま家の近くにおられたので教えてもらった。

井手さんは大学卒業後32年間神戸市公立中学校の音楽教師として務めてきたが、2年前に早期退職し今は自由人として活動している。ユーカリプタスの合唱にもずっと参加し、そこで本田さんと知り合いになった。

昨年11月23日の傘寿コンサートについては10月に一時声が出なくなり、それを引きずったまま強引に20曲程歌った。クラシックだけではなかったので救われる部分もあったが、井手さんには司会及び女性二重唱をお願いし、他の後輩にはギターアンサンブル、独唱、ピアノ伴奏も若い人をお願いした。また武庫川を卒業したプロの声楽家には5曲ほどいつでも歌えるようお願いしなければならないほど十分な状態ではなかったが、延期すると機会はないもうないと思い実施した。喜寿コンサートは歌うだけのコンサートであったが、トークが入り客席と一体感が生まれるホームコンサートのような暖かいアットホームなものをやりたいと思い、若い女性もはいった友情出演が必須と考えた。

ユーカリプタスの活動は1965年から5回演奏会を行い1971年を最後に活動を停止した。その後兵庫高校では吹奏楽部や管弦楽部の活躍が全盛期になる。ユーカリプタスは2008年の兵庫高校創立100周年の芸術祭に出演しようとしたことがきっかけで復活した。本田さんが新制高校3年に編入した時に音楽部を創部したので何とか復活したいと思い85名の素晴らしい合唱団が出来上がった。今年3月6日14時からハーバーホールで55名による40年ぶりに単独のリサイタル(第6回)を開催する。二人の指揮者に恵まれ、演奏曲は東京芸大を出られたソリストの指揮によるルネサンスの輝きなど、その他の曲としてはサトウハチロウのお母さん、佐藤誠の20分程の組曲蔵王(?)、三線付きで沖縄の島唄などを歌います。

神戸税関に勤め始めて以降、マイルカルテット(男性四重唱)ほかのコーラス活動を続けてきた。コーラスを最初に始めたのは7歳の時ボーイソプラノとして教会で歌い、小学校でもいろんなところで歌っていた。中学3年で終戦を迎え、4年生の時声変わりしたので声楽を習い始めた。同時期男性合唱団を立ち上げ軍歌しか教えてくれなかった先生をぎゃふんと言わせ溜飲を下げた。マイルカルテットも全国3位になり、当時ダークダックスとチュークエイセスしかなかったのが同様のプロを目指したが実現しなかった。

ここで本田さんの歌声(椰子の実)を聴く。

ハンガリーのプロのコーラスグループとの共演については、ユーカリプタスのメンバーの中に日本ハンガリー友好協会のメンバーがおり、その方の橋渡しで実現した。1 昨年プロムジカという女性コーラス38名が2度来日し、またバンキエという6人のミックスアンサンブルにも賛助(友情)出演をした。今年も7月9日に松方ホールで実現する予定です。昨年はハンガリーが音楽の年で海外には出かけていないので共演はなかった。今年はユーカリプタスだけでなく武庫川や松蔭も参加する予定である。ユーカリプタスはレベルが非常に高い理由として普通合唱団は女性が多いが、ユーカリプタスは熱心な男性が非常に多いことがあげられる。

3. ゆうかり大好きコアラさんの地域瓦版

以前ゲスト出演頂いた津村美姫さんのサクソフォンカルテット演奏会が3月2日大阪フェニックスホールで19時から開催されます。また61陽会の玉田さかえさんのシャンソンリサイタルが芦屋のラポール

テホールで3月21日（月）18時30分から開催されます。

3月19日世界最大級といわれる三国志ジオラマが出来上がります。3月27日にはコテリンピックというお好み焼きのコテを使って卓球したり運んだりするイベントが開催されるので個人、チームで出演していただき新長田を盛り上げましょう。

4. 来週のゲスト

来週のゲストは兵庫高校初めての情勢ラガーマンである牧野円さんにお越しいただきます。

番組に対するご意見、ご感想はこちらまで：yuukarinikanpai@gmail.com